

教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー)

幼児教育学科

幼児教育学科では、学位授与の方針に掲げる目標を達成するために、全学科共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実技、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。教育内容、教育方法、学修成果の評価については次のように定める。

1. 教育課程・授業・学修方法の在り方

(1) 知識・理解

・子ども、子育てと家族・家庭、社会について理解する基盤科目、幼児教育・保育に関する基礎理論や技能習得の基礎について学ぶ科目を配置する。

(2) 汎用的技能

・幼児教育・保育に関する専門性を有する社会人として、社会で活躍するために必要となる基礎力(文章表現、ICTの活用、意思表示、課題解決、コミュニケーション等に関する能力)を育成する科目を配置する。

(3) 態度・志向性

・幼児教育・保育に関する専門性を深く学ぶこと、また実践的に学ぶことを通じて自立性や主体性を育み、他者と協働して社会に貢献することのできる力を育成する専門科目、キャリア関連科目を配置する。

(4) 総合的な学習経験と創造的思考力

・幼児教育・保育に関する横断的・総合的な学修を体系的に活用し、自分自身の考えを整理・構築する総合科目、実際の現場で実践を通じて学ぶ実習関連科目を配置する。

2. 学修成果の評価方法

・講義、演習、実技、実習をとおして知識・理解を深め、学修の過程を含めた成果全体を把握し、総合的な実践力を筆記試験・レポート・口頭発表等により評価する。

・GPAによる客観的な評価基準を適用する。

総合文化学科

総合文化学科では、学位授与の方針に掲げる目標を達成するために、全学科共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。教育内容、教育方法、学修成果の評価については次のように定める。

1. 教育課程・授業・学修方法の在り方

(1) 知識・理解

・「日本文化」「現代文化」の領域を中心に、豊かな教養の基盤となる知識・理解に関する科目を配置する。

(2) 汎用的技能

・総合文化科目群を中心に、各領域に職場や地域で活躍するために求められる力(日本語表現、ICT活用、論理的思考、問題解決、コミュニケーションの力等)を育成する科目を配置する。

(3) 態度・志向性

・キャリアデザインや相互理解をテーマとしたキャリア関連科目群を中心に、各領域に主体性や協働性を高めることを目的としたアクティブ・ラーニングを重視する科目を配置する。

(4) 総合的な学習経験と創造的思考力

・1年次の「基礎ゼミナール」、2年次の「創作表現演習」において、自らの学習の成果をまとめ、地域社会、地域文化の発展に貢献する力を育成する。

2. 学修成果の評価方法

・講義、演習、実技、実習をとおして知識・理解を深め、学修の過程を含めた成果全体を把握し総合的な実践力を筆記試験・レポート・口頭発表等により評価する。

・GPAによる客観的な評価基準を適用する。